昭和57年12月1日　第282号

市章

広報えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31－2111（代）／〒243

毎月1日・15日発行

世帯と人口

昭和57年11月1日

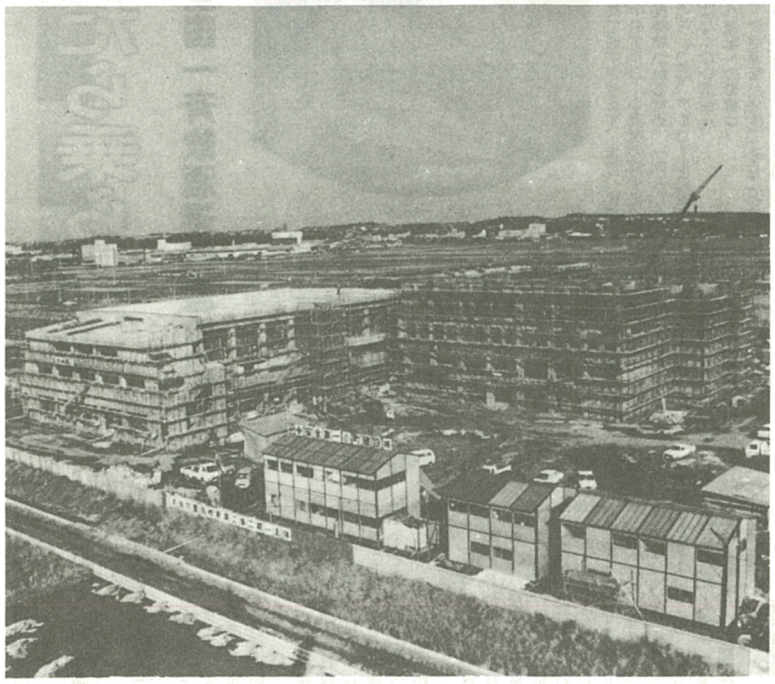
世帯	25,732世帯	（＋19）
人口	85,322人	（＋103）
男	43,804人	女 41,518人

開校（来年4月）へ向け、工事急ピッチ

個性の啓発を重視

「県央方面高校」教育構想ほぼまとまる

五月一日の本紙でお知らせした中野・社家両地区にまたがる土地にできる市内二番目の県立普通科高校「県央方面高校」は、その後も順調に工事が進み、海老名耕地に四階建ての校舎と三階建ての体育館が威容を見せています。普通教室、特別教室、図書室、職員室その他を含む中央棟、北棟、体育館は本年度中に完成し、新入生は本校舎開校という理想的な方式のもと、勉強することができます。五月一日号でお知らせした施設内容に代わって今回はこの「県央方面高校」の内容面でのいくつかの構想をご紹介します。



工事が進む「県央方面高校」校舎（撮影協力・市消防本部）

教育目標は個性啓発

「個性を啓発し、新時代に生きる人間を育成する」

人間には、その人だけが持つ個性があります。特に高校時代は個性の確立の重要な時期に当たっています。同高校では生徒の個性の伸長・育成に十分な考慮を払い、あらゆる機会を通して個性の啓発に努めることをモットーにしています。

また、現代は科学技術の進歩と物質文明の発達で、豊かな人間生活が営まれています。同高校では豊かで複雑な現代社会に生きる子供たちに幅広い能力を身につけさせ、新時代に適応性を持った人間の育成も目指しています。

さらに、物質的に恵まれた生活の追求は、反面では自然破壊をもたらし、物質枯渇を著しくし、人間性の喪失が憂慮される事態を招きました。お互いが楽しく生活できる社会を築くために、思いやりのある、温かい心を持った人間を育てることにも深い関心を払う教育を心掛けることにしています。

ゆとりある教育課程

昭和五十七年度から指導要領が改訂され、これは「ゆとりと充実」を柱としていますが、新設の高校では、単に時間数を減らすことだけが「ゆとり」ではないと考え、必要と思われる科目には十分な時間を使い、分かる授業、楽しい授業を進めて行きます。

生徒の希望や好みに合わせて十分な時間をかけるため、週三十四時間とする予定です。特に国語はすべての基本と考えますので重点を置きます。

二年生から選択科目を用意し、必要なものを十分勉強できるように工夫し、その段階で習熟度に応じた学習を行います。さらに個人指導も実施します。

個性的な特別教室

学力の充実を図り、創造性を培い、行動性を高め、情操面の育成を目指し、次のような特別教室を設けて特色ある個性的な教育を行います。

陶芸教室を設け、音楽、美術、書道に加えて工芸を選択履修させ、作る喜びを感じさせることによって創造性や情操面を育成します。例えば、構想の中にある自然科学教室では相模川水系の自然観察や研究が挙げられていますが、これなども私たち地元住民に呼びかけてもらえればかなりの協力ができると思います。

また、特色ある県立高校という点で、私も私立高校を含めて数校の見学をさせてもらったことがありますが、概して県立高校は進学を意識するあまり、どうしても型にはまった教育になっているように見受けられます。

進学は無論、非常に大切なことですが、それぞれの生徒の個性を育て、次の時代に花開かせるための配慮を欠かない教育をしていただければ幸いです。

自然科学教室を設け、相模川水系を中心とする地域の自然観察と研究を行い、生物・化学・地学の各分野を総合的に学習させます。

自主学習室を設け、自主学習の推進指導や個人指導の徹底充実を図ります。

なお、将来、施設その他を地域に開放するなど、地域との結びつきを考えています。

教育方針の三本柱

①きめ細かな進路指導

中学校・高等学校の教育は総称して中等教育と呼ばれますが、中等教育の最大の課題は進路の選択です。前期の中学校は義務教育期間でもあり、同一の道を歩むのですが、後期の高等学校では社会生活をするための準備をしなくてはなりません。

そのため、生徒の適性、能力、興味、関心などに基いて、本人の志望、保護者の意向を勘案調整しながら、生徒に最も適した将来の進学、就職などの進路決定・職業選択の指導を行います。

そのため、それぞれに応じた最も適切効果的な学習のできる教育課程を編成することはもちろんのこと、生徒の日常生活全般を通じてあらゆる場で自己の将来について考えさせ、前途に目標を持った、生き生きとして充実した高校生活を送ることができるようにきめ細かな指導をして行きます。

②徹底した生活指導

実際に社会に出ると、基本的な生活習慣を身につけていること、社会のルールを守るということの大切さを知ります。人間社会に生きるためにはそれなりの〝しつけ〟がされていなければなりません。

そのため、集団生活の中で自然に自制心を体得理解させる方向で〝しつけ〟をしっかり身につけさせる指導をします。これは保護者や本人にあらかじめ指導の必要性を理解していただき納得の上、行わなければ効果が上がりません。

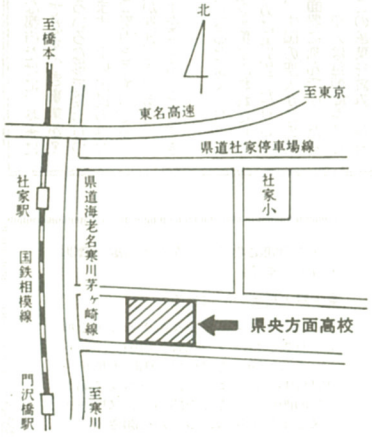
新しい学校ですから、校風や伝統は生徒や職員・保護者が一緒になってつくるという考えに立って進めて行きます。

③活発な部活動

たくましい体力、困難に負けない根性、他人に対する思いやりなどは、社会に生きる人間として欠かせないものです。しかし、これらは知識として与えられるものではなく、自ら体験し会得するものです。文化部や運動部などで仲間とともに汗を流し、困難を乗り越え、努力する間に身につくものです。

同高校では、なるべく多くの部活を用意し、職員も一体となって指導して行きます。その他ホームルーム、学校行事、生徒会活動などを通じ、生徒の自主性や協調性を高め、たくましい心身を育てて行きます。

「県央方面高校」案内図



私は思う

特色ある高校に

有馬中学校PTA会長　落合祐治さん（社家・62歳）

「県央方面高校」は、地域に密着した高校になることを望みます。

12/10～1/10

飲んだら乗らない

全国一斉飲酒運転追放運動

今月十日から来年一月十日にかけて、全国一斉に「飲酒運転追放運動」が行われます。

年末年始は、忘年会や新年会など酒を飲む機会も多く、飲酒運転をする酒反者が増える傾向にあります。

＜なぜ飲酒運転をするか＞

県警が飲酒運転で検挙した違反者を対象に調べたところ、その大部分が帰宅途中で、理由として「この程度の飲酒なら良い」「一休みしたら良い」と思ったと答えています。

しかし、アルコールは一種のマヒ剤ですから、運転に必要な認知・判断・実行の能力を短時間で低下させます。また、血液中のアルコール濃度の減少には長時間かかるため、一休みしたぐらいでは、アルコールの影響はなくなりません。

＜運転への影響は＞

飲酒運転が危険であることの最大の理由は、知覚作用、運転機能が低下しているのに、本人がそれに気がつかず、逆にいつもより感じくなったように感じ、運転について誤った自信を持つようになることです。

家族そろって明るい正月を迎えるために、飲酒運転追放にご協力をお願いします。

つい、一杯が……

身の回りに注意を

年末年始特別警戒　1月10日まで

警察では、十二月一日から一月十日までの間、「年末年始の特別警戒」を行います。

年末年始はなにかとあわただしく、少しの油断が犯罪や事故を招きますので、次のような点には十分注意してください。

○戸締まりを忘れずに

○スリ、ひったくりにご用心

○オートバイや自転車盗に注意

暴力犯罪の追放

暴行、たかり、いやがらせなどの被害にあいそうになったときは、一一〇番か近くの交番に通報してください。また万一、被害を受けたときは、泣き寝入りせず勇気をだして警察に届けてください。

座間警察署
海老名市防犯協会

市長随想

時人を待たず

時節流るるが如（ごとし）、時人を待たず、とよく言われます。もはや助走、まことに月日が過ぎるのは早いものです。

今年もまた多忙な年で、一日が三十時間位あればと思うときも度々でした。しかし仕事もあまりなく、時間をもて余すようなことに比べれば多忙ということはありがたいことだと思います。

さて、今年を振り返ってみますと、台風の当たり年、天候不順、景気回復の見通しが立たない、と一般的に良い年でなかったかとも思います。

このような状況の中で当市は未完成な都市だけに、将来に向かってなすべき事業が多く、いろいろな形で変わりつあります。幸い市民のみなさんのご努力とご協力でなくの事業が推進でき、あと一か月で新年を迎えることができます。

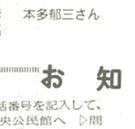
新年になるとよく「一日々是新」いう言葉が言われたり、書き初めに書かれたりします。昔、中国の聖人がこの言葉を洗面器に刻んで使ったそうです。聖人は毎朝顔を洗うたびにこの言葉を読み、毎日新しい意識で生きることを考え、そして人生の意義を見つめることが幸福につながるものだ、といったことを何かで読んだことがあります。

多忙なときほど「日々是新」という気持ちを持たなければと思います。

市長　左藤　究

相次ぐ受彰

本多さん（河原口）福祉への貢献で



本多郁三さん

多年にわたる保育行政及び福祉行政に対する貢献で、本多郁三さん（河原口・72歳）が十一月五日に厚生大臣表彰を、さらに日本郵便会から十一月三十日に社会貢献表彰を受彰されました。

本多さんは、昭和三十一年四月に本市で最初の保育園「さがみ愛子園」を河原口に創設、その後も地域住民の要望に応えて昭和三十二年十月「ふたば愛子園」を国分に、昭和三十九年四月「さくら愛子園」を上河内に、二十六年以上の長きにわたり、市の保育行政推進のために尽力されています。

また、現在、市民生委員推薦委員長、市社会福祉協議会副会長を務め、つねに地域社会の発展と福祉増進のためにご活躍いただいています。

今月十日から来年一月十日にかけて、全国一斉に「飲酒運転追放運動」が行われます。

年末年始は、忘年会や新年会など酒を飲む機会も多く、飲酒運転をする酒反者が増える傾向にあります。

＜なぜ飲酒運転をするか＞

県警が飲酒運転で検挙した違反者を対象に調べたところ、その大部分が帰宅途中で、理由として「この程度の飲酒なら良い」「一休みしたら良い」と思ったと答えています。

しかし、アルコールは一種のマヒ剤ですから、運転に必要な認知・判断・実行の能力を短時間で低下させます。また、血液中のアルコール濃度の減少には長時間かかるため、一休みしたぐらいでは、アルコールの影響はなくなりません。

＜運転への影響は＞

飲酒運転が危険であることの最大の理由は、知覚作用、運転機能が低下しているのに、本人がそれに気がつかず、逆にいつもより感じくなったように感じ、運転について誤った自信を持つようになることです。

家族そろって明るい正月を迎えるために、飲酒運転追放にご協力をお願いします。

身の回りに注意を

年末年始特別警戒　1月10日まで

警察では、十二月一日から一月十日までの間、「年末年始の特別警戒」を行います。

年末年始はなにかとあわただしく、少しの油断が犯罪や事故を招きますので、次のような点には十分注意してください。

○戸締まりを忘れずに

○スリ、ひったくりにご用心

○オートバイや自転車盗に注意

暴力犯罪の追放

暴行、たかり、いやがらせなどの被害にあいそうになったときは、一一〇番か近くの交番に通報してください。また万一、被害を受けたときは、泣き寝入りせず勇気をだして警察に届けてください。

座間警察署
海老名市防犯協会

技能功労者などを表彰

調理師37年の今井さん（中新田）ほか

技能功労者（敬称略、順不同）

◇優良技能者（同一職業に十年以上、技能優秀な方など）

大矢国男（一般職、東柏ケ谷二丁目・56歳）、今井藤作（調理師、中新田・73歳）、堀井俊吉（理容師、国分・53歳）、平忠助（大工、東柏ケ谷五丁目・57歳）、中村道（とび職、柏ケ谷・66歳）

◇優良技能賞（同一職業に十年以上、技能優秀な方など）

瀬市・40歳、下田伝（同、上今泉二丁目・37歳）、米沢敏博（同、柏ケ谷・29歳）、小泉進（製缶技術者、町田市・41歳）、山川豊（機械技術者、横浜市・42歳）、平野博子（美容師、東柏ケ谷一丁目・47歳）、佐藤ひろ子（同、大谷・34歳）、平井久子（同、中新田・50歳）、柳下秀男（左官、社家・46歳）、高橋敏夫（表具師、河原口・50歳）、鈴木宣治（大工、河原口・41歳）、今福幸一（同、中新田・43歳）、片平鎮雄（配管工、藤沢市・43歳）、清野正義（同、勝瀬・40歳）、伴雅博（塗装技能者、東柏ケ谷一丁目・34歳）、荒井格治（表具師、高岡能一、国分）

◇優良技能賞（十年以上勤務し、勤務成績が優秀な方など）

石川英司（㈱日立製作所・47歳）、加藤馨（㈱三和鋳造所・43歳）、牟田口茂嗣（同・39歳）、山田実（同・46歳）、永井義信（㈱エイチ・エス・テー・48歳）、神戸昇吉（㈱矢産業㈱・42歳）、渡部利喜正（同・52歳）、吉田三家（同・51歳）、相馬六蔵（㈱野村製作所・52歳）、菊田文男（同・31歳）、宮田順子（ホンダモータース㈱・26歳）、五反田七子（㈱栄屋製パン・40歳）、野本博司（同・26歳）、鳥谷光夫（同・43歳）、富塚定義（㈱金重屋・43歳）、浜田康之（㈱井上コンクリート工業・39歳）、黒木順子（小町建設㈱・50歳）、渋谷保幸（同・49歳）、佐竹信夫（倉庫工務店・49歳）、冨沢三雄（同・34歳）、鴨志田孝一（丸米石油㈱・43歳）、赤井慎吾（㈱赤井工務店・38歳）

◇優良店舗（店内の飾りけん、商品の配置、接客のし方などの基準で審査）

◇最優秀賞（同）竹長寿司（代表・見上直、国分寺台一丁目）

▽優秀賞（同）荒島酒店（代表・児島文之・大谷）、魚彦（代表・内藤忠次郎、国分）、ひろみ鮨（代表・折笠久良之、中新田）▽優良賞＝サガミ薬局（代表・小林庄司、国分）▽努力賞（㈱長田製絹（代表・長田一三、国分）、勇月（代表・今野武男、門沢橋）▽賞状（㈱久横田酒店（代表・横田昇、東柏ケ谷一丁目）、青商事（代表・丸山酒店（代表・丸山喜伝郎、中新田）、村山酒店（代表・村山義雄、中新田）。

これが"光の翼"。

海老名駅前に"光の翼"

市のシンボルタワーに

十一月九日、海老名駅前ロータリーに市のシンボルタワー「光の翼」が完成し、左藤市長を始め、関係者約三十人が列席して除幕式が行われました。

この「光の翼」は、市の表玄関となるべき海老名駅前にシンボルタワーを、と市が小田急電鉄（株）の協力を得て建設したもので、ロータリーの中心に建てられた高さ十五㍍の照明塔を包み込むようにして造られた三角塔。

一面のサイズが高さ九㍍、幅二㍍で一部ステンレス張りになっており、昼は太陽、夜は照明塔の光で輝くように設計され、このデザインは市設計協会の協力で考案されました。

「光の翼」という名称は、当初単に「広告塔」と呼んでいたものが長すぎにも無味乾燥なため、市職員から名称を募ったところ、百三十点が集まり、その中から「光の塔」という名が選ばれたのですが、市では「この光の塔」をアレンジして、光り輝く未来に羽ばたく海老名市という意味で「光の翼」という名称にしました。

今後は「この光の翼」を各種行政PRに役立てる予定で、随時三面に懸垂幕をつるしますが、現在、「緑と太陽に恵まれたわがまち海老名」（総合計画基本構想の将来目標）の懸垂幕が掛かっています。

善意のいずみ

次のみなさんから市社会福祉協議会の善意銀行に寄付がありました。まことにありがとうございました。

清水及子（上今泉）・三千五百円、長田寝具センター（代表・長田一三）…さらし五十反、県央美術銘石流通センター（代表・北口勝）…十万円、県不動産のれん会事業協同組合・一万千二百四十九円、スナック美（国分）…一万六千六百三十六円、八市産業まつり関係の寄付▽口秋洋）…六千九百円、市米穀商組合（代表・中山善）…二万四千六百六十六円、東柏ケ谷交通少年団…三万三千三百九十八円。

今月のプロフィル

古切手で海外医療協力

榎本たかみさん（国分寺台）

「家族に協力してもらったのはもちろん、親類全部に手紙を書き、古切手を送ってくれるよう頼みました」

今年十月、重さ三㌔ほどになった古切手は、社団法人日本キリスト教海外医療協力会へ送られ、同会を通して国内の切手愛好家に買い上げられた益金がネパール、バングラディシュなどの国に対する医療協力費に充てられる。

「次女に、お母さんにもできる社会奉仕活動がありますよ、といわれたのが始まりですが、こんなことでも社会のお役に立つんですね」

家族や親類だけでなく、切手マニアや近所の人からも古切手が届けられ、感激している。

三年ほど前、白内障の手術を受け、ほとんど見えない状態だった視力が回復した。足が少しも不自由だが、八十三歳の今、元気いっぱいで暮らしている。

「生家は宮城県の農家でしたが、父は馬の手綱を引きながら漢詩の本を読んでいるようなかたでしたから、それほど裕福でないにもかかわらず、九人もいた子供全部を上級学校へ進ませてくれました」

旧師範学校を卒業し、医師だった主人と結婚するまで小学校の教師をしていた。九人兄弟のうち、八人までが教師になったという。

「私の健康法は、歌って、書いて、頭を使い、そして毎朝自分で思いついたまま体を動かす『ずたらめ体操』、それに散歩をすることです」

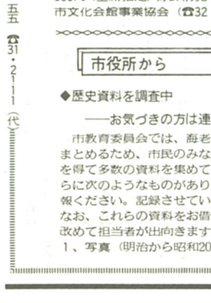
趣味はピアノを弾きながら歌うこと、そして書道。若いころから音楽は好きで、民謡の宝庫東北地方出身にもかかわらず、好みはモーツアルトやショパン。また、得意の草書で筆写する万葉集の和歌などを古切手を送ってくれた人々におれがとして贈っている。

「これからもちょっずつ古切手を集めて行くつもりです。もうすでに一㌧ほどになりました」

人生のモットーは「人の悪口をいわない、自分を愛するようにだれでも愛すること」。

好きなピアノと歌で、毎年老人ホームへ慰問を続けており、他人の役に少しでも立つことをひころのお願いとしている。

国分寺台一丁目在住。



社会のお役に立つことを…

12月1日から

年末たすけあい募金

11月価格情報

（単位：円）

品目	単位	大型店 平均価格	大型店 最多価格	中小店 平均価格	中小店 最多価格
しょう油	パック1ℓ	261(　1)	268	272(　1)	280
みそ	袋入1kg	335(　0)	338	301(▲8)	298
小麦粉	白1kg	275(　5)	268	260(▲30)	250
マーガリン	パック225g	185(　1)	－	189(　0)	198
サラダ油	ボリ700g	346(－)	358	307(－)	298
マヨネーズ	ボリ500g	330(－)	338	337(－)	338
小麦粉	薄力粉1kg	186(▲1)	－	201(　3)	200
牛乳	パック1ℓ	190(▲11)	198	213(▲7)	198
鶏卵	M 10個	230(▲31)	248	234(　35)	230
かまぼこ	160g	146(　0)	148	141(▲5)	150
即席ラーメン	100g	62(　0)	62	63(　0)	65
有リン合成洗剤	箱2.65kg	910(　0)	910	902(　36)	910
無リン合成洗剤	箱2.65kg	947(▲15)	910	925(▲10)	－
粉石けん	袋3kg	841(　0)	850	801(▲43)	850
灯油	配達18ℓ	－(－)	－	1792(122)	1750

価格は、市消費生活モニター30人の協力を得て11月初めに調査した通常平均価格です。（　）内は前年同月比では安。

消費者の声　年末になるとバーゲンが厚くなるが、宣伝にまどわされないようにしたい。

お知らせ

催し物

◆第3期公民館講座

市立中央公民館では、市内在住の方を対象に第三期公民館講座を下表の日程で開きます。

▷会場＝中央公民館（日曜大工だけ柏ケ谷中）　▷受講料＝教材費だけを受講者負担　▷人員＝手芸・日曜大工は20人、料理は32人、話し方は30人。超えた場合抽選。結果はハガキで　▷その他＝1人1科目。ただし、日曜大工と他の科目との申し込みは可　▷申し込み＝12月20日（必着）までに、住復ハガキに希望科目、住所、氏名、電話番号を記入して、上郷476の2　市立中央公民館へ　▷問い合わせ＝市立中央公民館（☎32・3231）。

◆市民教養大学講座「音楽の点描」

現代の音楽からクラシックまで幅広く紹介するとともに、エピソードなどを交えて音楽の楽しさ、素晴らしさを語ります。

▷とき・ところ＝1月10日～3月14日の間の毎週月曜日、午前10時～正午、全10回、市立中央公民館　▷内容・講師＝下表の通り　▷対象・人員＝市内在住の方60人。超えた場合は抽選　▷申し込み＝12月20日（必着）までに、住復ハガキに住所、氏名、電話番号を記入して、上郷476－2　市立中央公民館（☎32・3231）へ。受講料は無料。

第3期公民館講座日程

科目	内容	期間 時間	曜日 回数	講師
料理	中華料理の基礎から応用まで	1・14～3・25 9:30～12:30	毎週金曜日 10回	張　俊度
手芸	ナプキン、エプロン、のれんなどのろうけつ染め	1・10～3・7 10:00～12:00	毎週月曜日 9回	岩田　桑子
話し方	日常会話からT・P・Oに応じた会話を実際に	1・13～3・17 10:00～12:00	毎週木曜日 8回	話力研究所 植田　禎子
日曜大工	日常生活に役立つもの	1・22～3・19 13:30～15:30	隔週土曜日 5回	市立中学校教諭

内容	講師
近代	玉川大学講師　床野　進
中世・古代	〃　五十嵐一
音楽の効用	玉川大学教授　利光　功

◆市内1周駅伝競争大会

▷とき・ところ＝1月9日（日）午前8時半から、有鹿小学校集合（小雨決行）▷コース＝有鹿神社スタート、市役所ゴールで5区間　▷種別＝①自治会対抗の部②事業所対抗の部③中学校対抗の部▷資格＝①市内在住在勤者②中学生の参加は保護者の承諾書を添付すること　▷チーム編成＝監督1人、選手5人、補欠1人▷参加費＝1チーム3千円　▷申し込み＝12月24日までに申し込み書と参加費を添えて社会教育課へ。用紙は同課に。

◆第4回ロードレース大会

▷とき・ところ＝12月12日（日）午前9時、大谷中学校　▷種目＝一般男子・高校男子10km、一般女子・中学男子5km、中学女子3km　▷申し込み＝当日、大谷中学校玄関前　▷その他＝一般男子、高校男子の部は、都市対抗駅伝競争大会の選考を兼ねる

～9時の間に電話で、佐々木信雄（☎38・3196）まで。

◆国際人権デーによせて

アムネスティ・インターナショナル神奈川県央グループ（代表　福田光子、6人）では、国連で定めた「国際人権デー（12月10日）」によせて、同日本支部副支部長の西沢芙子さんを招いて、スピーチとスライド上映会のつどいを開きます。

▷とき・ところ＝12月11日（土）午後2時～4時、市立中央公民館　▷内容＝アムネスティの活動紹介　▷入場自由　▷問い合わせ＝宇井亨（☎31・9486）。

◆安売りデーは第2金・土

とき＝12月10日（金）・11日（土）
ところ＝店頭に黄色の旗を掲げる協力店
品物＝当日、店頭に掲示板で
価格＝市場などの協力を得て廉価で
主催＝市商工会

生活用品交換情報

＜譲ります＞マットレス、サイドボード、洋服タンス、勝の長いす、冷蔵庫、男性用靴25㌢、オルガン㌻。

＜求めます＞整理タンス、スピーカー、マイク、ミシン、自転車（大人用、子供用）、ソファー、うば車、ミニバイク㌻。

▶登録期間は3か月間。交換はマナーを守り、登録者同士直接に。紹介を受けた後は、交渉結果を必ず商工課まで報告。

▶情報・問い合わせは、商工課まで。

柏原よしえ コンサート

とき・来年1月29日（土）午後3時、6時の2回公演／ところ・市文化会館ホール／入場料・A席＝2,500円　B席＝2,000円（全席指定）好評前売り中／主催・市文化会館事業協会（☎32・3231）

（少年少女のつどい子ども名画劇場）

映画 象物語

12月19日（日）
入場無料

とき・12月19日（日）①午前10時～正午②午後2時～4時／ところ・①は市立中央公民館②は県立海老名青少年会館（30分前に開場）／対象と人員・中学生以下の方100人（小学2年以下は父兄の同伴が必要）／申し込み受付・12月5日から各会場に電話で／主催・①市立中央公民館（☎32・3231）②県立海老名青少年会館（☎31・9787）。

市役所から

◆歴史資料を調査中

――お気づきの方は連絡を

市教育委員会では、海老名市の歴史をまとめるため、市民のみなさんのご協力を得て多数の資料を集めていますが、さらに次のようなものがありましたらご一報ください。記録させていただきます。なお、これらの資料をお借りする場合は改めて担当者が出向きます。

1、写真（明治から昭和20年以前までのもの）

＜学校関係＞海老名小学校、有鹿分校、中新田分校、有馬小学校（特に大正12年以前）、門沢橋分校、社家分校

＜役場関係＞有馬村役場、海老名村役場

＜行事など＞学校の行事、青年団、在郷軍人会、消防分団、祭礼、民俗行事、農村風景、相模川風景（渡し舟など）、服装や風俗がわかるもの

2、記録誌的なもの（明治から昭和20年以前までのもの）

学校だより、雑誌、新聞、機関紙など▷問い合わせは、海老名市温故館内市史編さん準備室　浜田（☎33・4028）。

◆特設相談日のご利用を

――人権週間　12月4日～10日

人権とは、日常生活の中で、より幸福な生活をおくるために欠くことのできない権利です。この権利を「勝手」「気まま」と間違えて自分だけの意見を主張したり、勝手な行動をする人がいるため他の人の人権が犯される事件がおこっています。

そのため、人権を擁護する機関として法務大臣から委嘱された人権擁護委員が調査、相談などの活動を行なっています。

人権相談は自由の侵害、不当な差別、公害、借地、借家、隣近所の争い、家庭内の諸問題などを人権擁護委員がお聞きして解決を図る制度です。

人権週間中、特設相談日を設けましたので、これらのことでお困りの方はこの機会をご利用ください。

＜人権特設相談日＞

12月10日（金）午前10時～午後3時、市役所相談室。

◆58年度市立保育園の入所児童を募集

＜募集保育園＞

柏ケ谷保育園（東柏ケ谷2－14－6）
門沢橋　〃　（門沢橋770）
下今泉　〃　（下今泉487）
中新田　〃　（中新田122－1）
勝瀬　〃　（勝瀬67）

▷入所資格＝次のいずれかの理由で学齢前の児童が保育に欠ける場合（家庭内で母親以外に児童の保育ができる人がいる場合を除く）　①母親のいない家庭②母親が家庭内や家庭外で働いている③その他▷申し込み期間・場所＝来年1月24日～29日、午前9時～11時半・午後1時～4時（29日は午前中だけ）市役所第2分庁舎第4会議室　▷申し込み＝事前に福祉課に用意してある必要書類を準備し、当日は児童をつれて申し込む　▷問い合わせ＝福祉課。

◆建物を取り壊しなら届け出を

建物は建築したり、取り壊したとき、表示登記やその変更・滅失の登記が義務づけられていますが、未登記の建物が数多くあります。

市では、登記所からの通知や市内巡回で、毎年1月1日現在、建物を所有していて固定資産税を納めていただいていますが、未登記の建物が取り壊された場合は確認が困難です。

昭和57年中に建物を取り壊された方は昭和58年度の固定資産税が課税されません。余分な税金を納めないために、ぜひご連絡ください。

▷問い合わせ＝資産税課。

◆年賀状は お早めに

年賀状の受付は、12月15日（水）からです。12月4日・5日、11日・12日の土曜・日曜日は「年賀デー」としてご家族おそろいで年賀状をお書きになってはいかがですか。

そして、なるべく12月20日（月）までにお出しください。

郵便局

市役所　〒243　海老名市国分一五五　☎31・2111（代）

私たちはこう感じた

市民文化祭・産業まつりの印象

十月二十九日から十一月七日まで市文化会館・市立中央公民館で「市民文化祭」が、また、十一月七日には「第六回海老名産業まつり」が市役所敷地内駐車場で開催され、ともに多くの市民のみなさんが訪れました。この〝市民の祭典〟の模様を広報モニターのみなさんに取材していただきました。市民文化祭は、三戸見桂一郎さん（東柏ケ谷三丁目、45歳）と鹿志村博さん（国分、23歳）に印象を、産業まつりは、坂村富恵さん（上郷、36歳）にレポートをそれぞれ書いていただきました。また掲載した写真の一部は坂村巨勝さん（上郷、13歳）が撮影したものです。

市民の心に触れられた

印象に残った高齢者作品展

私は今年、初めて市民文化祭を見学した。海老名に住むようになって四年目だが、海老名についてよく知りたいという気持は以前から強く、今回の市民文化祭はそのきっかけになったような気がする。

さて、市民文化祭では特に展示部門を見学した。この展示部門は第一期から第三期までに分かれていて、内容を変えて三日ずつ日程が組まれていた。この中で第二期の展示を見学できなかったのは残念であった。なぜなら、これからの文化の担い手となる若い世代――園児、児童生徒――の作品を見てみたかったからである。

私の見学した展示の中で、最も印象に残ったものは、第一期の高齢者作品展であった。工夫を凝らし、あるいは力強く丹念に作られている作品の中には、はかり知れない情熱が秘められているように感じた。その情熱は、われわれ若者が見習うべきものだろう。また、工芸作品ではかわいい作品が数多くあり、見る人の心をなごませてくれていたように思う。

描くのは苦手だけど鑑賞は好きという私には、第一期の美術も興味深かった。日本画あり、油絵あり、内容も人物画、風景画と見ごたえがあった。第一期では他に盆栽が展示されていた。

第三期の展示は華道、書道、盆景などであった。私は門外漢なのだが、華道では花の材料や生け方に感心し、もっと地味な感じだろうと思っていた私を驚かせた。

私は第一期、第三期とも日曜日の昼ごろ見学したのだが、若い人が思っていたより多く見学していた。海老名は自分の故郷だと考えている若者は、多いのかもしれない。私自身も、市民文化祭で市民の心に触れることができ、〝ふるさと海老名〟へ一歩近づけたように感じている。

（市広報モニター　鹿志村博）

人と傘でうずまった

小雨ふる中で始まった産業まつりは、十一月七日、日曜日に盛大に行われました。

会場の中央にはりっぱな舞台装置があり、テレビで人気のあるガンダムショウが大拍手とともに始まり、大人も子供に交じってショウのとりこになっているようでした。その後に行われたライオンズクラブ主催のオークションは、盛りだくさんの品々が、次々に競りにかけられ、活気ある中にもなごやかな雰囲気でした。

模擬店は、湯煙の中でてんてこまいの忙しさのそば屋、焼き鳥屋、そのほかに、きき酒コーナーなどいろいろあり、お祭り気分をいっそう盛りたてている特売品コーナーなど、どこも長蛇の列ができていました。

第二会場の無料サービスも大勢の人だかりでした。この中で一番うけていたのは、豚汁コーナーでした。ぶるぶる震えるような寒さだったので、昼過ぎには大鍋がカラッポになっていました。もちつき大会も行われ、つくそばからきなこもちにしてサービスしていました。ポーンと大爆発するポン菓子には、子供たちが耳に手をあてて長い列を作り、今か今かと順番を待っていました。

道路沿いには、縁日を思わせるような店々が並び、秋まつりにふさわしい産業まつりでした。

（市広報モニター　坂村富恵）

ガンダムショウ（坂村巨勝さん撮影）

〝魂〟を鏡にうつす

十月二十九日に幕開けした五十七年度の市民文化祭は、十一月七日のフィナーレで幕を閉じました。

大谷歌舞伎のつめでは場内のあちこちですすり泣きが聞こえようでした。

プロパンガス協会では、空飛ぶ風船を配って、ともしび募金を呼びかけていました。雨にうたれた風船がちょっぴりかわいそうでした。ガールスカウトの子供たちが手作りの小物を並べ、人々の目をひいていました。

今年初めての出店だそうです。

市価より三一四割安の青空市の野菜、百五十枚の整理券を出して販売した味噌（そ）・砂糖分からないなりにもらい泣きをしました。また、民俗舞踊の出来栄えは、僕の金のペン、銀の舌をもってしても表現することのできないほど立派なものでした。市内に残る民話に基づく民話舞踊「白い椿の精」では、その舞台効果もさることながら、情景描写や演出に岡部芸術の粋を見た感じがしました。

今年の文化祭は全体を通して一言でいうならば、それは〝オーバー・ナイツ・センセーション〟でありました。

おはやしの宙の音色に察情と哀愁を感じ、神の声を聞く思いがしました。完成を目指し、成就することのないのを知りながら、ひたむきなその姿の方が、むしろあまりにも枠にはまった完成された姿より解放感があり、創造性に富み、見る側から好感できることに私は気付きました。

芸術とは、やはり美の追求だけにこだわらず、魂を鏡にうつすことこそ、真実と有情との矛盾を証明するものであると思いました。

来年もまた、今年以上にすばらしい文化祭になることを期待しています。

（市広報モニター　三戸見桂一郎）

……

今月の「フォトニュース」はお休みします。

海老名むかしばなし

第56話　大山道を訪ねて　その3

さて、お銀さまの住居であった大川清蔵の屋敷跡は、現在も綾瀬市の小園二四番地にあって、池田さんという方が住んでいるそうです。

游相日記ではその辺りの様子について、次のように書かれています。

「…すすみて細道をたどり行く。誠に世はなれたる片いなかにて都の空もおもい出られて、何となう物かなしく、ただ木、草の香りたかく、冷風人をうつ。かくしつつゆくほどに、鶏犬の声遥かに聞え、めしたく煙、麦搗（つ）く音、都にめづらかなる心ちして、又よろこばしうなりにたり。…」

都会人が辺びな田園を訪ねた様子がよくわかります。

ともかく、清蔵の子供たちに案内されて、目指すその家へ着きます。

「大きやかなるおもやにて、下屋、木小屋、左右にならびて、粟所せう千なろべ、犬鶏ゐ守りて、かの武陵ともいうべし」と屋敷のたたずまいを表現しています。（武陵とは桃源郷といった浮世を離れた所という意味でしょう）

やがて目的のお銀さまに会うわけですが、お互いに離別してから二十数年の歳月が人の様子をすっかり変えてしまい、お銀さまの方では何のためにこんな田舎まで立派な武士が訪ねて来たのかわからない。

しばらく話しているうちに、やっと江戸の麹町（こうじまち）から来たことがわかり、今は生き別れになっているわが子友信のかつての遊び相手、渡辺登であるということが思い出される。

「…まづ奥へ入りたまえとは云え、皆、板敷にて畳なし。花むしろ持出でて引き、これに坐（ざ）を設け、かしらなる手拭を取すつれば、まがうべくもあらぬ其人なり。ただ涙にむせびて、互いに問い答うる事もなく時を移す」

再会の感激がただならぬものであったことがわかります。

しばらくしてお銀さまは気を取り直してお勝手に立ち、心づくしのもてなしを始めます。

「そばがき二椀（わん）食す。酒三盛かるく飲す。濁酒のどへ通らず。吸（すい）もの、とうふ、たまご味よろしからず。一著（はし）給える梅ほしうまし。粟餅一ツ食う。其人よろこびのあまり、何かなと工夫してかくはもてなしけるなり」

と記し、当時の農村の食生活の一端を知ることができます。

やっと陽が西に傾きかけたのに気がつき、農業のさまたげになると思って、家を出る。家族が皆、門まで見送る中、長男の清吉が馬を連れて厚木まで送ってくれます。…五十八年一月一日号に続く…（浜田二郎氏＝本郷＝から寄稿されたもの）

相模国分寺境内にある道標

年末年始のゴミ・し尿収集予定

年末年始のゴミ・し尿収集は、例年の通り特別な日程で収集しますので、市民のみなさんのご協力をお願いします。

◆ゴミ　年末の最終と年始の最初の収集日は、下表の通りです。平常の収集日とは異なりますので注意してください。なお、12月26日（日）に下表の通り収集する地区があります。

◆し尿　収集作業が通常、月末または月始めのご家庭には12月29日（水）までに伺う予定です。アパート・事業所など不定期収集の場合の申し込みは、12月20日（月）までに電話または直接に美化衛生課へお願いします。年始は1月4日（火）から業務を開始します。

◆汚水　収集の申し込みは、し尿と同じように12月20日（月）までにお願いします。年始は1月4日（火）から業務を開始します。

年末年始ゴミ収集日程

地区＼日程	年末（12月） 燃えるゴミ	燃えないゴミ	粗大ゴミ	年始（1月） 燃えるゴミ	燃えないゴミ	粗大ゴミ
国分・大谷・勝瀬	27日(月)	22日(木)	20日(月)まで申し込み受付	4日(火)	12日(木)	4日(火)から申し込み受付
国分寺台・浜田町・上今泉	27日(月)	23日(木)		4日(火)	13日(木)	
柏ケ谷・東柏ケ谷	28日(火)	20日(月)		5日(水)	10日(月)	
望地	28日(火)	23日(木)		5日(水)	13日(木)	
中新田・さつき町・河原口	26日(日)・29日(水)	21日(火)		6日(木)	11日(火)	
上郷・下今泉	26日(日)・29日(水)	22日(木)		6日(木)	12日(木)	
上河内・中河内・杜家 中野・今里・杉久保	26日(日)・29日(水)	24日(金)		6日(木)	14日(金)	
本郷・門沢橋	26日(日)・29日(水)	24日(金)		6日(木)	14日(金)	

※年末は通常の収集日より1日ずれています。そのため日曜日（26日）に収集する所があります。